

2020・小学校低学年「おれ、よびだしになる」

- この本をえらんだりゆうは、
だからです。
- この本を読むまで「よびだし」についてあまり知りませんでした／～というイメージをもっていました。
- 私は「すもう／よびだし」について、
と言うことをはじめて知りました。
- 私はよびだしの
といふことにいちばん／とても おどろきました。
- なぜなら、
だからです。
- よびだしのしごと／役わりは、
などがあります。
- もし私がよびだしをやるとしたら、きっと
じゃないかと思いました。
- 主人公／僕は、ちゅうがくをそつぎょうしてよびだしになるためにすもうべやに入ります。もし私なら、
家族とはなれてくらすのは～／こうこうに行かずにはたらくのは～
だと思いました。
- もし私がちゅうがくそつぎょうしてすぐに、はたらきはじめる／家族とはなれてくらす といったら、きっと
家族／お父さん／お母さんは、
じゃないかと思いました。
- 主人公／僕は、5才のころの好きなきもちをずっと持ちつづけて、よびだしになるというゆめにむかって
努力しつづけました。私は
だと思いました。
- 私が5才のころの好きなもの／なりたかったものは、
でした。
- いま私は、
と思っています／考えています。
- そしてちゅうがくをそつぎょうすることには、
と考えているかもしれません。
- 1つのことを好きでいつづけることは、
だと思いました。
- 同じくらい、好きなことを見つける／たくさんのことにつまらせる ことは、
じゃないかと思いました。
- この本をよむ前は、すもう／よびだし について、あまりきょうみがなかつた／それほど好きではなかつた／
こんなにいろいろなしごとがあると思わなかつた／おすもうさんしか気にしてなかつた。
- でもこの本をよんで
と言うことを知って
だと思いました。